

学校名 久喜市立太田小学校
所在地 埼玉県久喜市吉羽2-16-10
電話 0480-21-0572

1 本校の概要

本校は、目指す児童像を「伝統を生かし 未来をつくる 太田小の子どもたち」としてスクールプランに掲げ、学校教育目標を、全力でがんばりぬく子〔・考えぬく子・思いやる子・やりぬく子〕と定め、目指す教師像である「率先垂範・師弟同行 子どもを本気にさせる教師」を胸に、日々教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ① 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ② 家庭地域との連携

(2) 実践の概要

- ③ 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組

ア 図書バーコードの仕様変更

今年度より、貸出の時間短縮のため、貸出カードにバーコードを直接貼り付ける方法へと変更を行った。

イ 電子書籍 Yomokka!の活用

図書と Yomokka!を併用して読書に取り組んでいる。

- ④ 家庭や地域との連携

ウ 図書館ボランティア

太田小学校では「図書館ボランティア」として、保護者有志の方々に、図書委員と一緒に、図書の貸出や返却する児童の対応をしていただいている。また、毎週木曜日の業前の時間に朝読書を全クラスで行っているが、図書館ボランティアの方々に決められた日程で「読み聞かせ」をしていただくこともある。子供たちの読む力や聞く力、想像する力が身に付ききっかけとなっている。その他にも学校図書館の飾り付けや、本の整理等、幅広く学校の読書指導に貢献していただいている。

エ 中央図書館との連携

地域との連携としては、久喜市立中央図書館との連携で「ブックトーク」を行っている。決められたテーマに関連する本を中央図書館から持ってきていただき、実際にその場で聞くというものである。例えば今年は、2年生に対し季節に合った本（秩父地方のかき氷など）

を紹介して頂いた際には、児童は興味津々に話を聞いていた。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 貸出時間短縮により、貸出数が増加した。
- イ ICTの活用により、気軽に読書に取り組む児童が増えた。年間の読書数も増えてきている。
- ウ 図書の貸出が増え、本に触れる児童がたくさん増えた。
- エ ブックトークのテーマを各学年の教科の学習内容との関連を図って設定することにより、学習を深めたり、その後の学習に生かしたりすることができた。

(2) 課題

- ア 年度初めの教員準備が負担になってしまうので、図書ボランティアさんに協力していただいて、準備を進めていきたい。
- イ 今年度は Yomokka! トライアル期間のため今後の見通しが立ちにくいだが、もし来年度も使用できるのであれば、Yomokka!と、学校図書館との併用を意識して取り組んでいきたい。
- ウ 保護者との関わりということで、定期的な連絡が取りにくく、当番のすれ違い等があった。今後は、図書館ボランティアのリーダーの方と連絡をこまめに取りたい。
- エ 換気や児童の間隔など実施する環境について、引き続き打ち合わせを重ねていきたい。

4 おわりに

以上の取組以外にも、年間50冊（高学年は5,000ページ）を達成した児童のリストを掲示したり、貸出ランキングの掲示などを行ったりする予定である。今後も、柔軟な発想を大切にし、読書好きな児童の育成を目指して、学校全体で取り組んでいく。